

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科博士前期課程
2021年4月入学 一般入試（第1回）

入学試験問題

教育研究分野	人間文化論、日本文化論、医事法学、科学史技術論、臨床死生学、ソーシャルイノベーション論
科目	論述試験 I

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

（奥野修司『看取り先生の遺言ーがんで安らかな最期を迎えるために』〈文藝春秋、2013年〉に拠る。問題作成の都合上、文章を加工している。）

→裏面に続く

設問

問題文で述べられているチームケアを含め、現代の医療や介護の現場において、様々な専門分野の協力を必要とする課題が数多く生じている。そのような課題の具体的な事例をあげたうえで、以下の2点について論じなさい。

- ①取り上げた事例に注目する理由（その事例が様々な専門分野の協力による解決を必要とする理由を含む）。
- ②専門分野の観点からの考察（例えば、課題の背景、先行する課題解決の取り組みへの批判、課題を解決するための必要条件、課題解決のプロセス、課題を解決することの効果、など）。

以 上

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科博士前期課程
2021年4月入学 一般入試（第1回）

入学試験問題

教育研究分野	ソーシャルイノベーション論
科目	論述試験Ⅱ

問題 トマス・クーン『科学革命の構造』に関する以下の本文を読んで、次の問1、問2に答えなさい。

問1 著者は、科学社会学の特徴をどのように捉えているか、簡潔にまとめなさい。

問2 日本経済や企業経営に関し、よくパラダイムシフトという表現が用いられるけれども、そうすることの理由や長所・短所などを考察して述べなさい。その際、現実の事例にも言及すること。

→裏面に続く

出所：成定 薫（1996）『科学革命の構造』との出会い『情況』12月号, 29-34 ページ.

以 上